

登場人物…

ミチヤ 主人公。キジカと十年来の幼なじみ。一浪
キジカ ヒロイン。ミチヤと幼なじみ、ストリートで明智
大学へ行く

サボ 主人公の中学からの友人でキジカと同じ大学

S 1 ミチヤの部屋

ミチヤ、カレンダーの前で仁王立ちしている
カレンダーには全ての日に○と×がついており、一部には
大学の名前が書いてある

ミ 明日やる明日やると言い続けてはや十年か…長かった
な

母 浪人！

ミチヤの母、突然現れてミチヤをビンタして去っていく

ミ 明日やらねば明日はない！

父 浪人！

ミチヤの父、突然現れてミチヤをビンタして去っていく

ミ 今日覚悟は一味違う。俺はキジカと！

姉 浪人！

ミチヤの姉、突然現れてミチヤをビンタして去っていく

ミ キジカと！

母と父と姉がミチヤの後ろに現れる

ミチヤ、振り向く、母と父と姉に連続でビンタされる
ミ ああああああああああ！

ミチヤ、蹲りそうになるが踏ん張って拳を握る

ミ いたい！！！！

父母姉 浪人！！！！

ミ 痛い……

ミチヤ、へたり込む

S 2 体育館で卒業式

校長が祝辞を読んでいる
卒業式の列が並んでいる。

ミチヤの斜め前にキジカがいて、ミチヤはキジカを見てい
る。ミチヤの後ろにはサボ

キジカ、ミチヤに振り向いて微笑む

ミチヤ、慌てて下を向く

サボ、後ろからミチヤを小突く

ミチヤ、サボに小突き返しながら、キジカの方を見る。キ

ジカはもう正面を向いている

S 3 教室

卒業証書を持ってミチャとサボが教室に入る

黒板には卒業おめでとうとカラフルに書かれている

ミチャとサボは前、後の席に座る

サ そんなで、Xデイは今日だよ

ミ そうだけじゃ……

サ 何をためらう必要があるんだよ。今日は十年間の総決算

だろ

ミ なんていうかさ

サ だってじゃない。ここを逃げばいつになる

ミチャ、黙って俯く

サボ、ミチャの顔を覗き込む

サ ミチャ？

ミ 見ちゃいや

ミチャ、体を黒板に向け、机に肘をつく

サ 冗談言ってる場合か

サボ、呆れてため息をつく。心配そうにミチャの肩を叩く

ミチャ、サボの方に急に振り向き、眉をへの字にし唇を

きゅつと一文字にしてサボを睨む

サ な、なんだよ

サボ、面喰らって少し腰を浮かせて体勢を整える

ミチャ、サボをじーっと見つめる

サボ、ミチャを負けじとじーっと見つめる

キジカ、教室に入り、見つめ合う二人を不思議そうに見な

がら近づく。手元の卒業証書で手をぼんぼんと叩き、やれや

れと言った顔をする。

ミ 俺、浪人確定したんだ

キ え、

キジカ、卒業証書を落とす

卒業証書を落とした音が教室に反響する

ミチャとサボ、キジカに気づき、はっとしてバツの悪そう

な顔をする

ミチャ、俯いて手を握ったり開いたりする

キ あ、あのさミチャ……

ミチャ、突然立ち上がり、キジカに近づき両手を取る

キジカ、驚くも手をしっかり握り返す

ミ 今から校舎裏に行くぞ……!!

担任、教室に入ってくる

担任、行くなよーホームルーム終わってからにしてくれー

周囲からクスクスと笑い声此起彼伏

ミチャとキジカ、恥ずかしそうに黒板に向かって頭を軽く

下げる。苦笑いしながらお互いを見る

担 いつまで手繋いでんだー早く席に着けー

周囲から大きめの笑い声此起彼伏

サボ、二人を見かねて立ち上がり、大声を出す

サ 先生の唐変木ー！

一旦静かになる

ミチヤ、サボの方を見て顎を出しながら微妙な顔をする

ミ サボ……

サボ、ミチヤの方を見てキメ顔をする

ミチヤ、うなづく

ミ 先生の朴念仁ー！

周囲から笑い声とともにいろんな掛け声が出る

周1 とんちきー！

周2 独身ー！

周3 三十八歳！

段々と笑い声が大きくなる

ミチヤ、キジカの方を見る

キジカ、ミチヤを困ったように睨み付ける

ミチヤ、開き直って大声で笑い出す

キジカ、嘆息してからミチヤに向かって叫ぶ

キ あ、あほー！

S 4 帰り道

ミチヤとキジカ、並んで歩く

ミチヤ、手をぼっけに入れている

キジカ、寒そうに手に息を吐きかけ揉んでいる

ミチヤのナレーションが入る

僕はアホである。筋金入りのアホである。苦節十年、待ち

に待った日を迎えたわけだがどうにも格好がつかなく、気ま

づく、浪人である。

ミチヤの回想

ミチヤ、机に座ってスマホをいじっている

ミチヤの母、ミチヤの後ろに立ちながら声を張り上げてミ

チヤに小言を言う

母 ミチヤ！ そんな携帯なんて触ってないで勉強したらど

うなの！ 浪人すると合格率は下がるのよ！ 浪人させ

る余裕なんてないからどこでもいいから絶対受かるの

よ！

ミ はいはい

母 お隣のキジカちゃんなんてこの前模試でA判定出したっ

て言うじゃないの。あんたは？

ミチヤ、頬を指で横に広げる

ミ イーだ！

母、ミチヤをビンタする

回想終わり

ミチヤ、頭を抱えて立ち止まる

キジカ、一歩分ミチヤより前に出てから振り返る

キ どうしたの？

ミ あ、いや、その俺さ……

キジカ、困ったように笑みを浮かべ少しだけミチヤを見つめる

ミチヤ、何かを言おうとする

キジカ、それを制して先に言う

キ 実は私の行く大学のそばにもちよつと大きめの予備校があるんだ

ミチヤ、したり顔でうなづく

ミ それはキュートな話だね

キジカ、満足そうに微笑みつつ片手をミチヤに向ける

キ 私は？

ミ チャーミングだね

ミチヤ、キジカの手をとって繋ぐ

二人、お互いの手を見てから歩き出す

ミ 手、冷たいね

キ 気付いてよね

ミ え？

キ やっぱりアホ

キジカ、そう言いつつも手をぎゅっと握りミチヤを引っ張りながら歩く

ミ ちよ、ちよつと待ってって

キ もちろん待ってるから！ 一年くらい！待てるから！

ミ 分かったよー。でもちよつとゆつくり！ スローペースで！

S 5 回想、高校の教室

ミチヤ、机で弁当を広げている

サボ、ミチヤに近づく

サ やあミチヤくん。今日も一人でお弁当かね

ミ やあサボくん。君の分のスペースは空けておいたよ

サ それはそれは、忝い

サボ、ミチヤの正面に座る

ミチヤ、ちらつと遠くの席にいるキジカを見る

サ あ、俺と二人の時に他の女のことを見たな

ミ そりゃ目の前の現実から目を背けたくもなるさ。何が楽

しくて男と向き合って食事をせねばならん

サ それは君のか弱い心に言うんだな。おっ今日の弁当にも

唐揚げか。共食いも飽きないね

ミ ちえつ、レンジであつたためたつて、冷凍チキンは冷凍チ

キンさ

S 6 大学の学食

ミチヤとキジカ、向かい合わせてテーブル席に座っている

キジカ、オムライスを食べながらミチヤに話しかける

キジカ 調子はどう？

ミチヤ ぼちぼち。高一の復習から始めてる

キジカ そうなんだ。私もまだ高校の延長つて感じ。ところ

で……なんで顔隠してるの

ミチヤ、参考書（予備校）で顔を覆っている

ミチヤ いや、野郎とならともかく女子を正面から直視する

のは気恥ずかしい

キジカ 私たち付き合ってるのに？

ミチヤ 付き合っても気恥ずかしいものよ

キジカ そう言われるとなんか照れてきちゃった

キジカ、カバンから教科書（大学）を取り出して顔を隠す

二人、しばらく黙る

ミチヤ キジカの顔が見えないのは寂しい

キジカ 私もよ

二人、ちらつと参考書／教科書を下げたお互いを見る、す

ぐにさつと隠す

ミチヤ オムライス、冷めるよ

キジカ、たっぷり間を置いてから教科書を置いて食べ始め

る

ミチヤ、参考書を下げてキジカを見る、キジカと目が合う、

さつとまた参考書で顔を隠す

キジカ、ため息をつき苦笑いしながらオムライスを食べ

る

S 7 予備校の教室

ミチヤ、世界史の板書をとっているが、教科書をちらちら

見る。ノートに関係ない文字が入り込み始める。

“アレクサンダー大王は東方遠征により、恥ずかしいこと

をした、オリエント諸国を征服し、私服姿が可愛かった、

西はエジプトから、オムライスを食べるところを、東は

インドス川まで、見てみたい。”

ミチヤ あ、なんだこれ

ミチヤ、慌ててノート書き直そうとするが、板書はどんど

ん消されていった

S 8 回想シーン

体育の時間、ミチャとサボは体育館の隅で座っている。目の前ではバスケット、遠くでは女子がバレーボール

ミチャ、バレーボールをするキジカを見る。サボ、キジカを見るミチャを見る

サ ミチャ

ミ なに

サ 鼻の下伸びてる

ミ えっ

ミチャ、慌てて口を突き出して鼻の穴を広げて顔の体操をする。一通りやったら頬を叩く

ミ よしっ

サ 嘘だけど

ミ んだと!

サ まあまあ、でも分かるぞ。君が思い人に見惚れるのも

キジカ、ジャンプサーブを決める

ミチャ、すげーと声を漏らす

サ ほれみるあそこも

サボが指差した先でも男の集団がキジカを見てすげーあの

子かっけーなどと言っている

ミチャ、その男の集団を見て微妙な顔になる

サ ライバルは多いようだな

ミ 胃が痛い

サ ま、でも幼なじみとしてミチャが得点リードしてること

には変わりないんじゃないか

ミ 彼女持ちは余裕だな

サ こう見えて、苦労があるんだなあ

ミ その苦労が待ち遠しいなんてな……

S 9 大学の学食

ミチャとキジカ、学食のテーブルで向かい合って座っている

ミチャ、今度は顔を隠していない

キジカ 今日の西洋史ね、ドイツ中世の話だったんだよね。

ハーメルンの笛吹と東方植民が関係あるんだって

ミチャ へー、高校だとあんまりドイツ中世やらないよね

キジカ そうそう。だから前にある大学がフス戦争で四〇〇

字とかいう問題出してね

ミチャ あーこの前それ解かされたー

キジカ えーほんと!? どうだったの

ミチャ ゼーんぜん分かんなかった。ウィクリフとの関係と
か書いたくらいだよ

キジカ 十分すごいよ！ 来年は一緒に授業取りたいね
ミチャ いやーちよつとまだ模試だね……

金髪と茶髪の男二人組、キジカに後ろから近づく

ミチャ、警戒して眉を寄せる

金 あれ、キジカちゃんじゃーんお昼？

キジカ、振り向く

キジカ あっ先輩こんにちは

茶 こんちやうってあれ、そっちは

キジカ、ミチャの方を向く、なんと答えようか困って何か

言いかけて止まる

ミ あ、えーつと高校同期のミチャって言います。よろしく

お願いします

金 よろしくうー！ 男バレに興味あったら連絡くれよな！

茶 水金の放課後に練習してるからよかつたら来てね。それ

じゃお邪魔しちゃ悪いから

金髪と茶髪、去る

キジカ、不満そうな顔をしてミチャを睨む

ミチャ、バツが悪そうに頭をかか

ミ あれって部活の先輩？

キ 私は女バレだから先輩じゃないよ。前に交流会の時に
会っただけ

ミ そ、そうなんだ

ミチャ、ほつと息をつく

キ それよりもさ

キジカ、ミチャを睨み続ける

ミ い、いや悪かつたつて

キ 何が

ミ そ、そのね……浪人生と大学で食事なんて

キ そうじゃなくて

ミ え、えーと

キ まあいいよ。別に

キジカ、時計を見る

キ もうすぐ三限だから急ぐね

ミ あ、俺も

二人、急いで残りのご飯をかけこむ

BGMが流れ出す

ミチャとキジカ、並んで歩くが、キジカの方に人がワラワ
ラと集まりだし、段々とミチャから離れていく。ミチャは手
を伸ばしてキジカの手を掴もうとするが、キジカはそのまん
ま人ごみに吞まれてどんどん離れていく。

ミチャ、手を伸ばした方向の逆を向く、予備校の入り口

突如、予備校から水が溢れミチャは水に吞まれる

ミチャ、だんだんと水底に沈んでいく

上の方ではキジカがいるが、その周りをサメが何匹も泳いでいる

ミチャ、キジカの方に手を伸ばすが届かず、どんどん水底に沈んでいく

S 10 電車シーン

ミチャ、電車の席で単語帳を睨みつけている

ミ ラダイトマルクスインターナショナル、第一インター第

二インター

単語帳から顔を上げる

ミ ダメだ気分が上がらない……

再び単語帳に目をやる

ミ サンシモンエンゲルスロバートオーエンサボタージュ

……あ、そうだ。サボに聞いてみるか

単語帳を勢いよく閉じて、座席に置きっぱなしにし、電車を降りる

S 12 サボの家

サボ、机の前の椅子に座っている。髪型がトゲトゲしたものになっている。机には本やチラシなどの山

ミチャ、サボの前の床に座っている

ミ サボ様、どうか助けてください。地球消滅の危機なので

サ ふむ、みいちいやあくうん。君、君はアホだ

ミ キジカがアホと言ったのだ！ 俺はアホでいい、アホで

いいんだ！

サ ドアホ！

サボとミチャ、すごい勢いでドアノブを見る

ミ ドアホは嫌かも、

サ そうありたくないのなら頭をひねるんだな

ミチャ、首を傾げて270度くらい回転させようとする

サ それ首回してるだけな。てか回ってないし

ミ どうすればいいんだ俺は

サ ちつとは無い知恵回せ

ミチャ、上目遣いに瞬きを繰り返しながらサボに近寄る

サボ、気持ち悪そうにオエつと言いながら後ずさる。咳払いをする

サ まずは、遊びに行く、だな

ミチヤ、満面の笑みを浮かべるが、すぐに真顔になる

ミ そんな暇ないよ……浪人生だし俺

サ そんなんで我らが明智大学に入れるのかね

ミ ぐうの音も出ない

サ 今日は大丈夫なのか

ミ 予備校のない日だからね。一番近い遊園地でも行くのは泊まりがけになるし、無理だ

サボ、急に立ち上がって手を振るって熱弁する

サ 俺は春休みに元カノをデートに誘ったら同じような断り

方をされた。後日インスタを見るとキラキラターマパークに行っていたのだ。無理ではない！

ミチヤ、半歩ほど引きつつ上体を後ろにそらしてサボの手を回避する

ミ そ、そうかそうか。別れたんだな

サボ、ミチヤに顔を寄せて鬼の形相で睨む

ミチヤ、唾を飲み込み、思い切ってサボのトゲトゲを触る

ミ よしよし

サボ、なおも鼻息を荒くするが、落ち着きを取り戻して座

る

ミチヤ、それを見て半歩前に戻る

ミ てかそもそも予備校代が厳しくてキラキラターマパーク

とか無理だよ。文字通り首が回らないんだ

ミチヤ、首を頻りに回そうとする

サボ、再び立ち上がりどたどたとミチヤの周りを歩きながら熱弁する

サ そもそも！ 浪人生にキラキラターマパークなど、不似

合いなのだ！ もっと慎ましやかな、そしてささやかな楽しみに抑えて然るべきではないか！

ミチヤ、頻りに頭を下げて申し訳なさそうにする

ミ でも、ちよつとでもいい。キラキラした、青春のペー

ジを、この夏休みに迎えたいというのだ！ 傲慢かこれ
は！

ミチヤ、言いながら立ち上がり、サボの手を取り一緒に机の周りを回る。三周ほどして二人とも目を回して倒れる。

サボ、その拍子に机にぶつかり、机の山を崩す

ミチヤ、崩れた山の中から旅行パンフを見つける（内容は海鮮）。そしてサボの頭を見る

ミ そういやさ

サ なんだ

サボ、よろめき立ちながら返事をする

ミ お前の髪型雲丹見たいだな

サ 元カノにも言われた

キ あー。学食だと知り合いに会っちゃうもんね。ごめんね
気が利かなくて

ミ いいんだ。これは我がままだから
キ 私の分の我がままも加えて

二人、しばらく見つめ合いながら微笑み合う
ウエ ごつーもんはいかがでしたませうか

ウエイター、突然現れて注文を聞く

ミ アメリカンのブラックで

キ 私もそれで

ウエ 承ります。しおしおおまつください

ウエイター、下がる

ミ さて、今回特別に話したいことがあってな

キ なになに推薦受かったの？

ミ き、気が早い！

ミチャ、咳払いする。威厳を出そうと両の拳を机に置く

ウエ ごつうもんのアメリカンです

ミ 早い！

ウエ ありがとうございます！

ミ こちらこそ！

キ ありがとうございます

ウエイター、会釈してから下がる

キ 凄い早かったね

ミ うむ。それでだな

ウエ すむいません。ぶろううもうんていん（めっちゃ巻

き舌）ですちあ。お下げします

ミチャ、がつくりと項垂れる

ミ これで、いいです

キ 私も大丈夫です

ウエ ありがとうございます！

ウエイター、そそくさと立ち去る

キ それで、どうしたの

キジカ、慰めるようにミチャに話しかける

ミ うん、それでだな。これをね

ウエ すむいません。お冷忘れとりますた

ウエイター、急に転けてミチャの頭とカバンに水をぶち

まける

ミ おひえっ！

ウエ すみません！ すみません！

ミ お、お気になさらず

ミチャ、めげずにキジカに向き直り真剣な顔つきになる

キジカ、ハンカチでミチャを拭こうとするが、緊張して唾

を飲みこむ

ウエイター、雰囲気にもまれて拭く手を止めて、ミチャとキジカを交互に見る

ミ 海に、行かないか

ミチャの頭の上から水が垂れてくる

キ い、いいね！ いきましようー！！

キジカ、仕切りに首肯する

ミチャ、安堵から気が抜けて口元の締まりが悪くなる。くしゃみをする

キ 大丈夫！？ コーヒー持って！

ミ う、うん

キジカ、ミチャをハンカチで拭く

ミ あ、ありがとう

キ いいの。彼女だし

ミ そ、そうか

ミチャ、ちよつと照れ臭そうに笑う。チラッと時計を見る

ミ ごめん。呼び出しといてなんだけどそろそろ行かなきゃ

キ 大丈夫。勉強がんばってね

ミチャ、千円札を置いて席を立ち、店から出ていく

キジカ、ミチャが出ていくまで後ろ姿をずーっと見ている。

ミチャ、店を出るときに視線に気付いてキジカに手を振る。

キジカ、手を振り返す。コーヒークップを見る。腕を伸ばして机に置き、そこに頭を載せて、カップに指を伸ばす。

カップを指で弾いて音を鳴らす

キ そんなに急がなくなつて、一年でも二年でも待つのに

なあ……。待つしかできないのかな……

もう一度カップを指で弾く

S 14 電車で移動

ミチャとキジカ、電車で並んで座っている。電車が揺れてもミチャは微動だにしないが、キジカは少し揺れる。ミチャは口を真一文字に結んで正面を睨み、キジカはそれを横目で見ながら少し上を見ている。

キジカ、電車が揺れた時に思い切つてミチャの方に体を傾けるが、ミチャも同方向に体を傾ける。キジカ、不満そうに口を尖らせる。

ミチャの携帯にサボから電話が入る。ミチャ、携帯を取り出して画面を見る。キジカも画面を覗き込む

キ サボくんじゃん。出ないの？

ミチャ、電話を拒否してから携帯の電源を切る

キ 切っちゃった

ミ 気が効かなかつたな

キジカ、満足そうにニヤつき、斜め上を見ながら何度もミ
チヤの横顔を盗み見る

キ ふーん

ミ どうした？

キ 別に

キジカ、揺れてもいないのにミチヤの方に体を傾ける。ミ
チヤ、揺れてもいないのに同じだけキジカとは反対方向に体
を傾ける。二人、同じ姿勢で斜めになりながらしばらく動か
ない。

キジカ、ミチヤの方に無理やり倒れ込む

S 15 海鮮丼屋 前半

キジカとミチヤ、海鮮丼屋にいてメニューを広げる

ミ 何食べる？

キ うーんどうしようかな、ミチヤは？

ミ 俺は…、サーモントロトロロキハダカンパチイカイクラ

丼かな

キ もう一回言つて

ミ サーモントロトロロキハダカンパチイカイクラ丼

キジカ、楽しそうに笑う

キ もう一回！

ミ サーモントロトロロキハダカンパチイカイクラ丼！

キジカ、腹を抱えて笑う

ミ そんなに面白い？

キ そんな真面目な顔で言われると、面白くつて

ミ そうか

ミチヤ、この日初めて笑う

キ 緊張してるの？

ミ 多少

キ 今まで一緒に出掛けたこと何度もあるのに？

ミ 二人で遠くに来たのは初めてだし

キ ふーん。私も

二人、同時に微笑む

店員、注文を取りに来る

店 はい、ちゅーもん

ミ サーモントロトロロキハダカンパチイカイケエラドゥン

キジカ、思わず吹き出す

S 16 海鮮丼屋 後半

キジカ、ウニ丼を食べている。ミチヤ、名前長い丼を食
べている

キ 私ね、ウニ好きなんだ

ミ　へー肉じゃがとミートスパゲッティ以外にも好物があったのか

キ　小学校の給食にはなかったからだよ

ミ　そりゃそうか。キジカのこと中学から分かんないや

キ　教えてあげましょう。私はウニが好物です

ミ　覚えておこう

二人、黙々と食べている

ミ　南米のチリだとね

キ　うん？

ミ　ウニが瓶に入ってキロ単位で売っているらしい

キ　へー！　最高！

ミ　いつか行きたいな

キ　来年でも、再来年でも、十年後でも、二十年後でも

キ　キジカ、優しげに微笑む。ミチヤは不器用に照れた感じの

表情をして返す

ミ　二十年は流石に

キ　おばあちゃんになっちゃうかも

S 17　海の見える公園

ミチヤとキジカ、二人並んで海岸を歩いている

空から隕石が降ってきて海に落ちて、ドデカい水しぶきが

上がる

海の中から怪獣が現れて雄叫びを上げる

海が割れて雲丹が大量に現れる

ミ　な、なあキジカ

キ　なに？

ミチヤ、足を滑らせて海に落ちる

キ　ミチヤ！

ミチヤ、手をばたつかせて溺れる

キジカ、ミチヤに手を伸ばして岸に引き上げる

キ　ミチヤ！　ミチヤ！

ミチヤ、咳き込んで水を出し、胸を叩いて苦しそうにする

キジカ、ミチヤの背中をさする

ミ　キ、ジ、カ

キ　だ、大丈夫！？

ミ　大好き

ミチヤ、気を失う

キジカ、ミチヤを抱き抱える

キ　私もだよ……

S 18　ミチヤの部屋のベッドの上

ミチヤ、ベッドの上でスマホを弄っている。くしゃみと咳

をする

スマホの画面..

今日はありがとう。でも、これからしばらくは会わない方がいいと思う

ミ 俺も、なんかそう思う

ミチヤの母、部屋に入ってくる。無言でミチヤをビンタする。

ミ 何すんだよ

母 何してんだよ

ミチヤの母、去る

ミチヤの姉、部屋に入ってくる

姉 起きたな弟

ミ 姉ちゃん

ミチヤの姉、ミチヤをビンタする

ミ 何すんだよ

姉 笑え

ミ 笑えないよ

姉 せめて笑え

ミ だから！

姉 キジカちゃんのために

ミ ……うん

ミチヤ、打たれた頬に手を当てる

S 19 電車シーン

ミチヤ、単語帳を開いてひたすら単語を唱えている

ミ カルパチアアルパチヤパンパホルンマッターホルンダル

マチアニースサヴォイ。あ、そうだサポに

単語帳を座席に置いて電車を降りる

S 20 サポの部屋

ミチヤ、サポの前で土下座している

サポ、ミチヤを椅子の上から見下ろしている

サ よう風邪引き受験生

ミ 返す言葉もない

サ 遊びに行つて風邪引いたとか普通にウケる

ミ 笑ってくれ

サ お前も笑えつて

ミ 難しいよ

サ お前に笑っていて欲しいと思つてる人のためにもな

ミ 俺、焦っちゃつてるよな

サ お前が待てないだけで、キジカちゃんは待つ覚悟あるよ

うに見えるけどな

ミ そう、なんだよな……だからと言って何年も待たせるわけにはいかないし

サ 十年待ったんだろ。お前ら

ミ 待ったというか、待ちやうたというか

サ 愛想尽かされないのが不思議なくらいだよ

ミ ほんと、そうなんだけどな

ミチヤ、土下座姿勢からうつ伏せになる

サ おいおいどうした

ミ 不貞寝

サ お似合いだよ全く

S 21 大学の学食

ミチヤ、キジカの大学の学食に来る。キジカがいないか見回すが、見つけれずに一人で食べる

ふと遠くの方で人が集まっているところを見つめる。その中心にキジカがいる

まず金髪が、次に茶髪が、その次に四、五人がやってきては去る

ミチヤ、呆然としてそれを見る。目を背けようとしてご飯を食べようとしますが、何度も見てしまう

サボ、キジカの席に来て長々と話し始める

S 22 回想シーン、校舎の裏

キジカ、高校の制服姿、高校の後者裏で男1と対面している

ミチヤ、その様子を影からこっそり見ている

男1 キジカさん！ 僕と！

キ ごめんなさい

男1、去る。代わりに男2が来る

男2 キジカさん！ 僕と！

キ ごめんなさい

男2、去る。代わりに男3が来る

男3 キジカさん！ 僕と！

キ ごめんなさい

男3、去る。その後も四、五人ほど来ては去る

サボ、ミチヤの隣に来る

サ すごいなあれ。学校一だな、いや三国一の手弱女と言ったところか

ミチヤ、呆然として何も言わない

サ おーい

サボ、ミチヤの前で手をひらひらとさせる。ミチヤの反応なし

サ ダメだこりゃ

サボ、キジカの方へ歩いていく

S 23 ミチヤの部屋

ミチヤ、飛び起きる。しばらくぼーっとするが、頬を叩く

ミ よしっ

机に向かい、参考書を広げる

S 24 電車シーン

ミチヤ、日本史の単語帳を広げて単語をひたすら唱えている

ミ 時宗弘安禅門後醍醐楠木高時尊氏南北朝義満北山万人恐

怖、信玄謙信信長光秀、本能寺……本能寺、明智光秀

急に立ち上がって単語帳を捨て去り叫ぶ

ミ 敵は本能寺にあり！

S 25 ミチヤの部屋

ミチヤ、自室の机に明智大学の資料を広げている。横に封筒があり、それを開ける。なかからは東都大学と書かれた資料が出てくる。明智大学の資料の下にある予備校からの志望校調査票を出す

ミ 東都大学つと、

東都大学の資料と志望校調査票を交互に見る

ミチヤの母と姉と父、部屋に入ってくる

母 息子よ

ミ なに急に入ってきて

ミチヤ、立ち上がる

父 生活費は気にしなくていい

姉 心配するな

三人、ミチヤを抱き寄せ、頭を撫でる

ミ なんだよ急に

父 何年経っても

母 お前は息子だ

姉 弟だ

ミ ……うん

S 26 海の見える公園

ミチヤ、冬の格好をしている。ポケットから受験票を出し、それにキスをする。海に向かって投げ捨てる。もう一枚の受験票をポケットから出し、それを見る

ミ あ、逆じゃん

服が水を吸って水底に沈んでいくが、もがいてもがく。水底の方を見るとキジカがどンドン底に沈んでいく。その様

子をしばらく眺めるが、水面へ向かってもがく

水面から顔を出す

横に浮かんでいた受験票を掴む。岸に向かって泳ぐ。岸から手が伸びている。それを掴み、岸を上る

上ったところにはキジカがいる

ミ やあ、久しぶり

キ 久しぶりミチャ。……色男になったね

ミ 君は……日焼けした？

キ ちよつとだけ

キジカ、微笑む。ミチャもつられて笑い、脱力して仰向けに大の字になり、顔に片手をかざす

ミ ははは、ははははは

S 27 どこかの家

ミチャ、ちゃぶ台の上にスーパーの袋を置き、中からウニのパック寿司を取り出す。正座して丁寧にパックを開ける

ミ いただきます

ウニの寿司を食べる